

平成28年度 事業報告

18歳人口の減少により学校法人電子開発学園（以下「本学園」という。）の学費収入は、年々厳しさを増している。そのような中、本学園運営のためには、財政基盤の健全化及び教育サービスの維持、向上が最重要課題となっています。

本学園の主要財源は、学生生徒等納付金収入及び国・地方公共団体からの補助金収入であるが、学生生徒等納付金収入の安定化には、確実な学生確保が重要となっている。また、学生生徒等納付金収入以外に外部資金の導入も重要であると考え、受託研究事業、文科省の競争的資金、教育研究振興募金事業等の外部資金の獲得に積極的に取り組みました。

北海道情報大学においては、主体的学びへの取組、FD推進による教育の質の向上等、学生の教育の多様化に対応すべく、種々の改革を進めている。さらに、平成29年度からの改組改編に向けてカリキュラムや実習環境を整備しました。

一方、北海道情報専門学校においては「産・学・研」連携による最新の技術による教育により、情報処理技術者国家試験で全道一の合格実績を上げることができました。

就職実績は北海道情報大学が97.6%、北海道情報専門学校が98.2%と、両校ともに高い就職率となり、就職実績の伝統を維持するため、更なる教育の充実に取り組みました。

平成28年度に本学園が実施した主な事業は、以下のとおりです。

（1）北海道情報大学

- ①建学の理念(情報化社会における新しい大学と学問の創造)等の明確化をはかり、「Quality First」をミッションとして策定した「HIU Vision2020」を反映した、第2期中期目標・中期計画・平成28年度計画を実施した。
- ②日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月7日付で、「日本高等教育評価機構が定めるすべての評価基準に適合している」と認定された。
- ③広報活動では、平成29年度からの改組改編に焦点を合わせ、学部・学科・専攻の特徴(臨床工学専攻の新設等)を、教員と広報担当者等で高校訪問を行うとともに、教員による出前授業等の機会を増やし、広報活動を推進した。
- ④「全ての学生を卒業に導くための実行プラン 2016」の実施では、教職員間での情報連携を密にして、退学の兆しの早期発見、早期対応、切れ目のない指導体制等を構築し、退学者防止に努めた。

- ⑤国際化社会に役立つグローバル人材育成のため、タイ王国・ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校と本学との間で学生相互派遣による国際コラボレーションを実施した。さらに、米国ポートランド州立大学、中国南京大学のほか、新たに中国大連東軟信息学院、マレーシアUCSI大学に短期留学を行い、交流促進を図っている。
- ⑥通信教育部では、社会的ニーズや今後成長が見込まれる分野を踏まえて、カリキュラムの見直しを行い、開講科目の改廃を行った。また、正科生Bのインターネット出願、学生向け印刷物のWeb閲覧等、Webを利用して学生サービスの向上を図るICT化計画を推進している。
- ⑦安心・安全な環境の維持・向上、及び教育環境の整備として、開学以来28年経過した本部棟の外壁改修工事を実施した。また、アクティブラーニング教室を追加した。さらに、臨床工学専攻の実習室開設のため国際交流センターの改修工事を行い、実習用医療機材を導入した。
- ⑧学生の就職活動支援では、首都圏に本社がある企業等を対象にした「北海道情報大学 大学説明会」を、過去最高の参加者を得て、平成29年2月に開催(会場：中野サンプラザ)した。
- また、就職活動中の学生を対象に、北海道内の医療機関、民間企業を集めて「企業・病院説明会」を平成29年3月に開催(会場：京王プラザホテル札幌)した。
- ⑨健康情報科学研究センターでは、国際フォーラム(フードサミット2016イン北海道)を11月30日に開催するとともに、食の臨床試験(江別モデル)の受託研究事業(23件)が評価されて『北海道科学技術賞』を受賞した。
- ⑩外部資金導入の一環として、平成27年10月より行っている「HIU 教育研究振興募金」の募集を継続するとともに、前年度に募集した寄附金による奨学金の給付、研究・教育活動の支援等を行った。
- また、SD(スタッフ・ディベロップメント)対応の一環として職員の人事考課制度の全面改定を行った。

(2) 北海道情報専門学校

- ①情報処理技術者国家試験合格者数で全道の専門学校合格者数に対する占有率がいずれの試験でも75%以上(基本情報技術者試験：76.9%、応用情報技術者試験：90.4%、情報セキュリティスペシャリスト試験：96.3%、データベーススペシャリスト試験：88.9%、ネットワークスペシャリスト試験：100%)を占め全道一の合格実績を上げることができた。また、ITストラテジスト試験においては、全国の専門学校生で唯一の合格者を輩出した。

- ②専門学校の教育を企業に理解してもらうとともに、学生の就職活動を活性化するため、北海道内や首都圏の企業を対象にした「合同企業説明会」を平成28年5月に開催(会場：ベルクラシック札幌フローラ)した。
- ③平成28年度私立大学等研究設備整備費等補助金により、4号館1階2教室の学生実習用ノートパソコン(96台)及び、本校舎3階1教室のワークステーション(47台)を最新の機種に置き換えた。
- ④学習環境の整備として、本校舎の冷暖房機の更新及び、学生用 Windows タブレット PC (48台)の導入とネットワーク基幹設備の更新等を行った。
- ⑤経済産業省のIPAが実施する『iCD活用企業認証制度』(iコンピテンシディクショナリをベースとしたIT人材育成方式活用度合いの認証制度)において、高等教育機関として初めて、かつ全国専門学校では唯一の認証ランク【SilverPlus (先進的な取り組み)】を取得した。

以 上